

## 5 - 11 東海・南関東地域における歪観測結果 (1985年11月～1986年4月)

Observation of Crustal-Strains by Borehole Strainmeters in the Tokai and  
Southern Kanto Districts (November, 1985 - April, 1986)

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division  
Japan Meteorological Agency

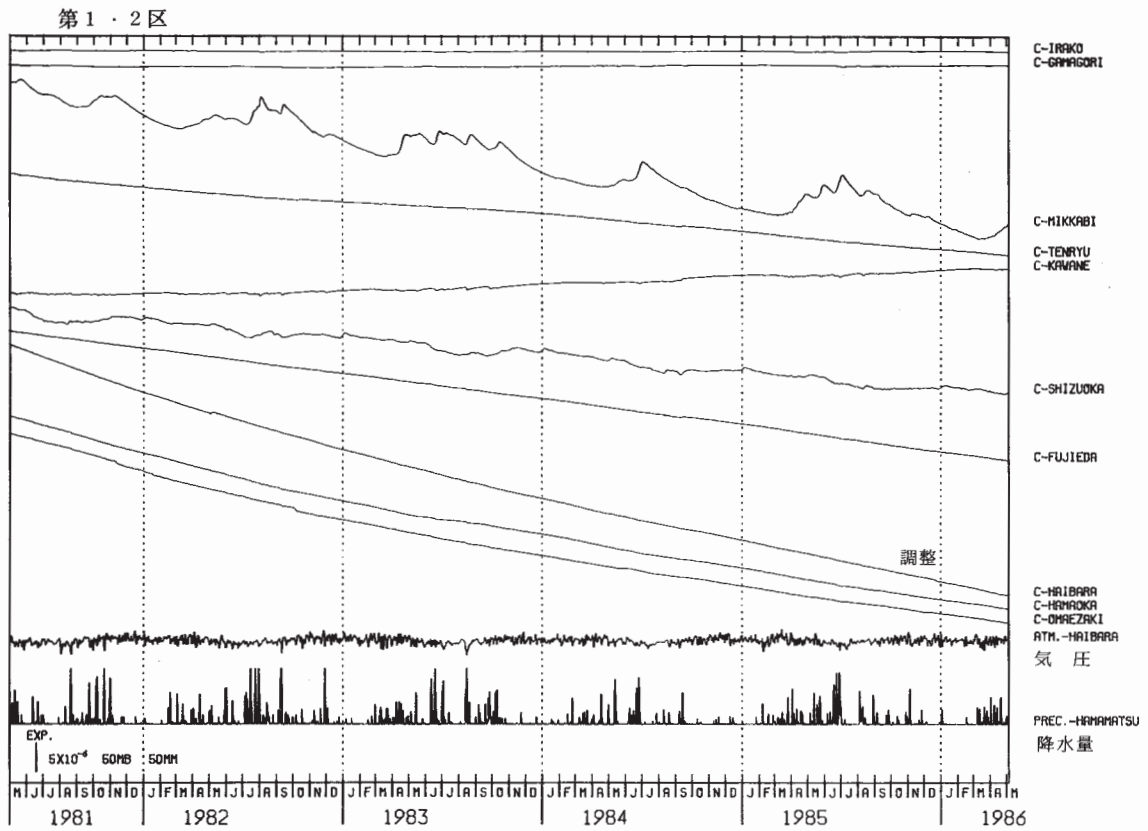
気象庁が東海・南関東地域において観測している埋込式体積歪計による観測結果を示す。

第1図(a)～(e)は、1981年5月以降の気圧補正した歪日変化(C-)を第1図に示した区域によって分けたものである。東伊豆は伸びの変化が著しいため、さらにトレンドを除去してある(CD-)。各図に気圧データと各区域内の気象官署における日降水量を併せて示す。第2図(a)～(f)は、1985年11月から1986年4月までの毎時値による歪変化を3ヶ月単位で各区域毎に示す。

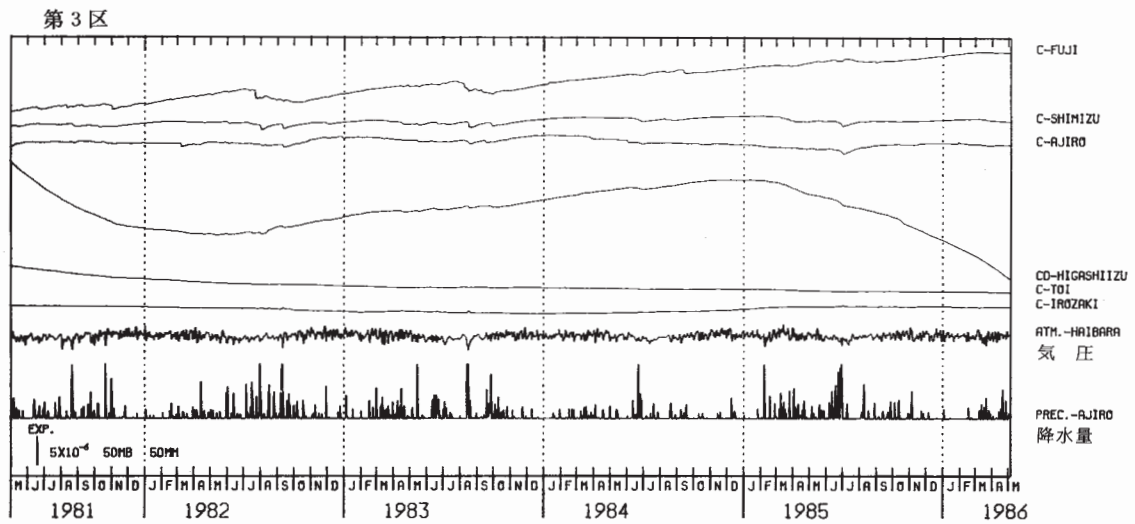
東伊豆の伸び量は次第に減少する傾向である。日野は1986年2月と4月にも不規則な変化をしている。大島は11月22日から24日にかけて一時的な伸びの現象が現れたが、全体的には縮みの傾向である。大島の微小ステップ状変化は1985年4月以来全く発生していない。長柄では最近やや伸びの傾向を示す。長柄で昨年の大変動の後に見られた縮み方向のステップ状変化は、12月までに次第にその大きさが小さくなってき、暮れから再発生したものの1986年1月24日以降は全く現れていない。八日市場では、1985年12月27日と1986年4月30日に縮み方向のステップ状変化が発生した。

### 参 考 文 献

- 1) 桧皮久義・佐藤馨・二瓶信一・福留篤男・竹内新・古屋逸夫：埋込式体積歪計の気圧補正，  
験震時報，47 (1983)，91 - 111.
- 2) 気象庁地震予知情報課：東海・南関東地域における歪観測結果（観測開始から1985年12  
月までの概要），地震予知連絡会報，36 (1986)，271 - 275.



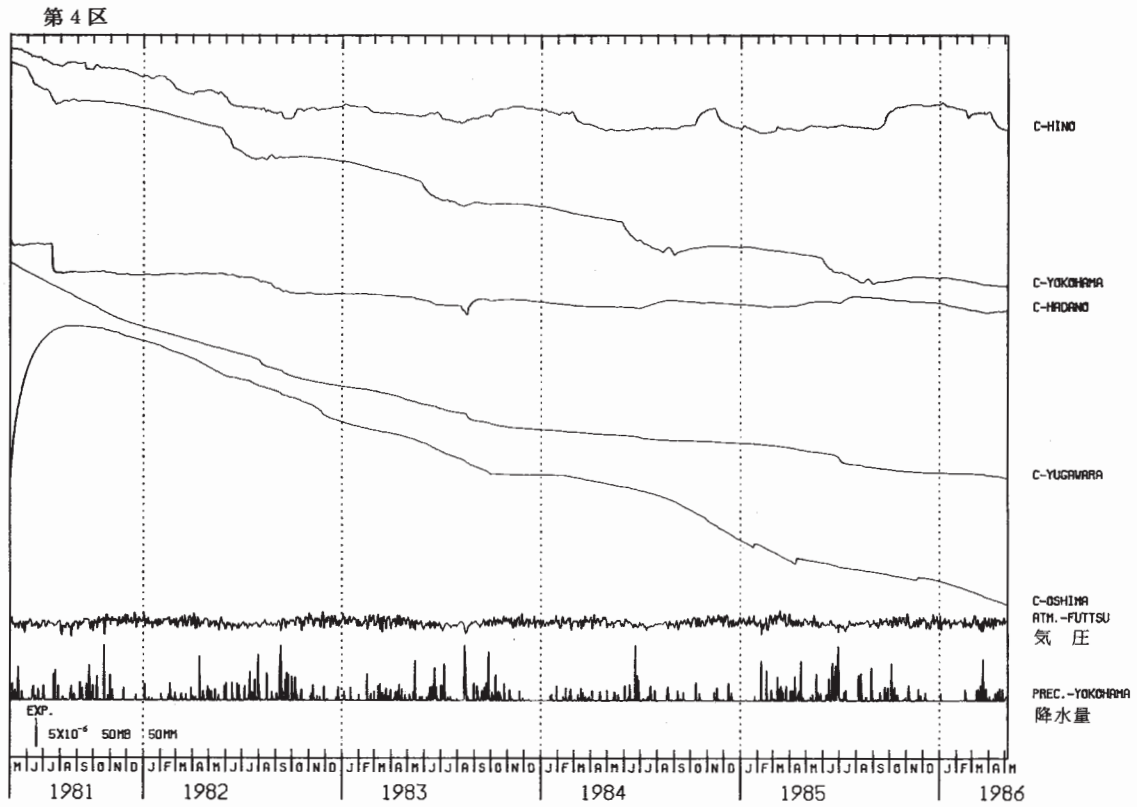
(a)



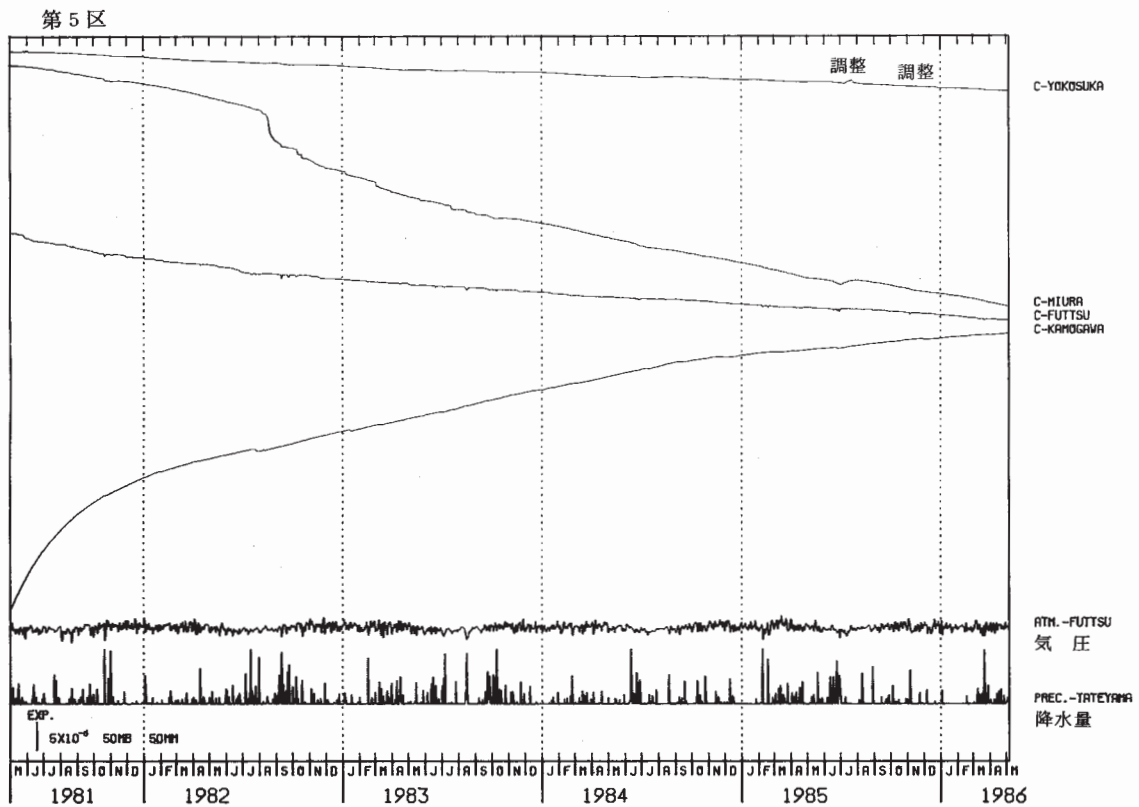
(b)

第1図(a)~(e) 1981年以後の東海・南関東地域における地域別歪変化  
(日平均値, 気圧補正をした値)

Fig. 1(a)-(e) Variation of crustal-strains by regions 1 - 6 shown in Fig. 1 in the Tokai and Southern Kanto Districts since May, 1981 (daily mean values).  
C - : Values corrected by barometric pressure.



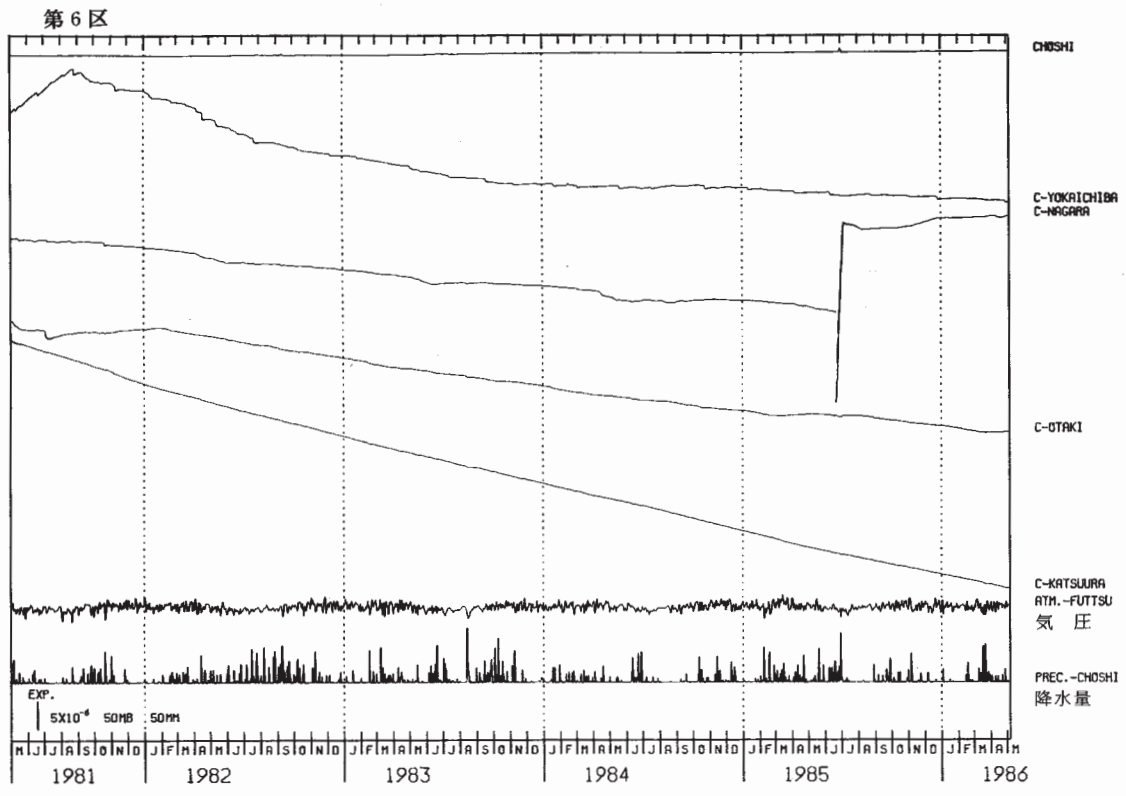
(c)



(d)

第1図 つづき

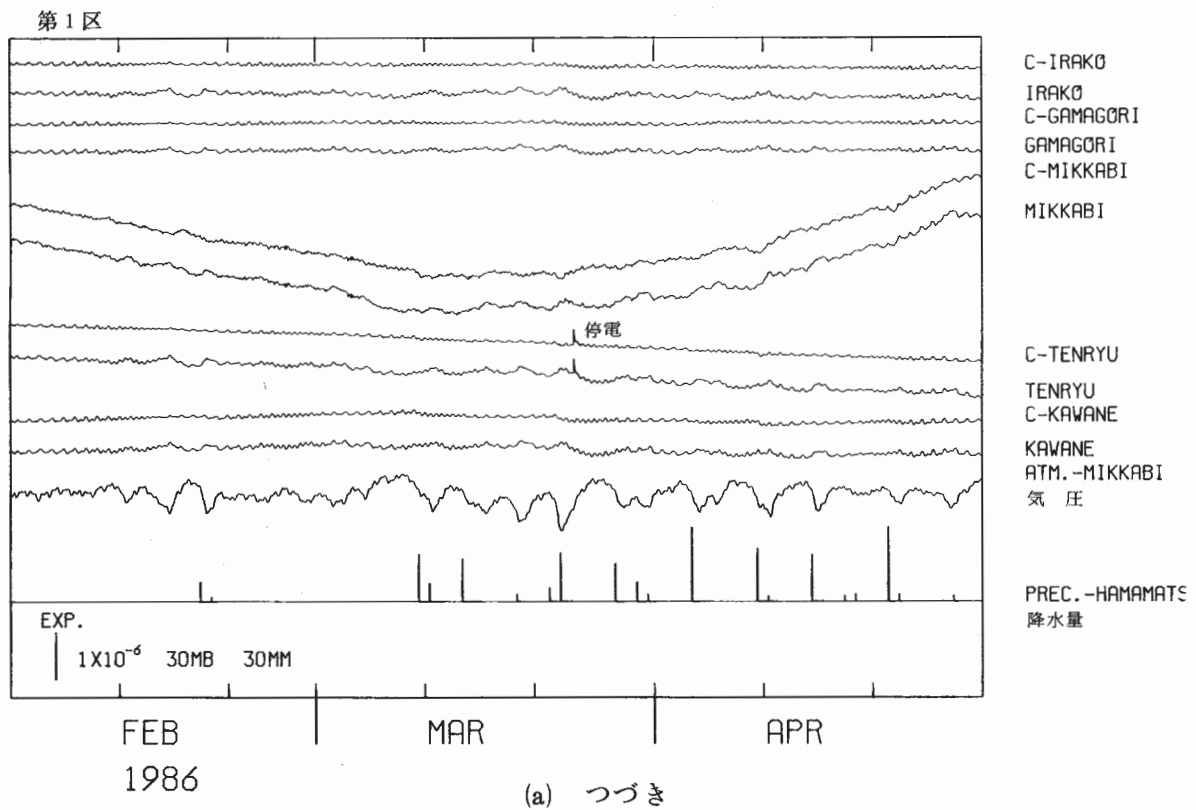
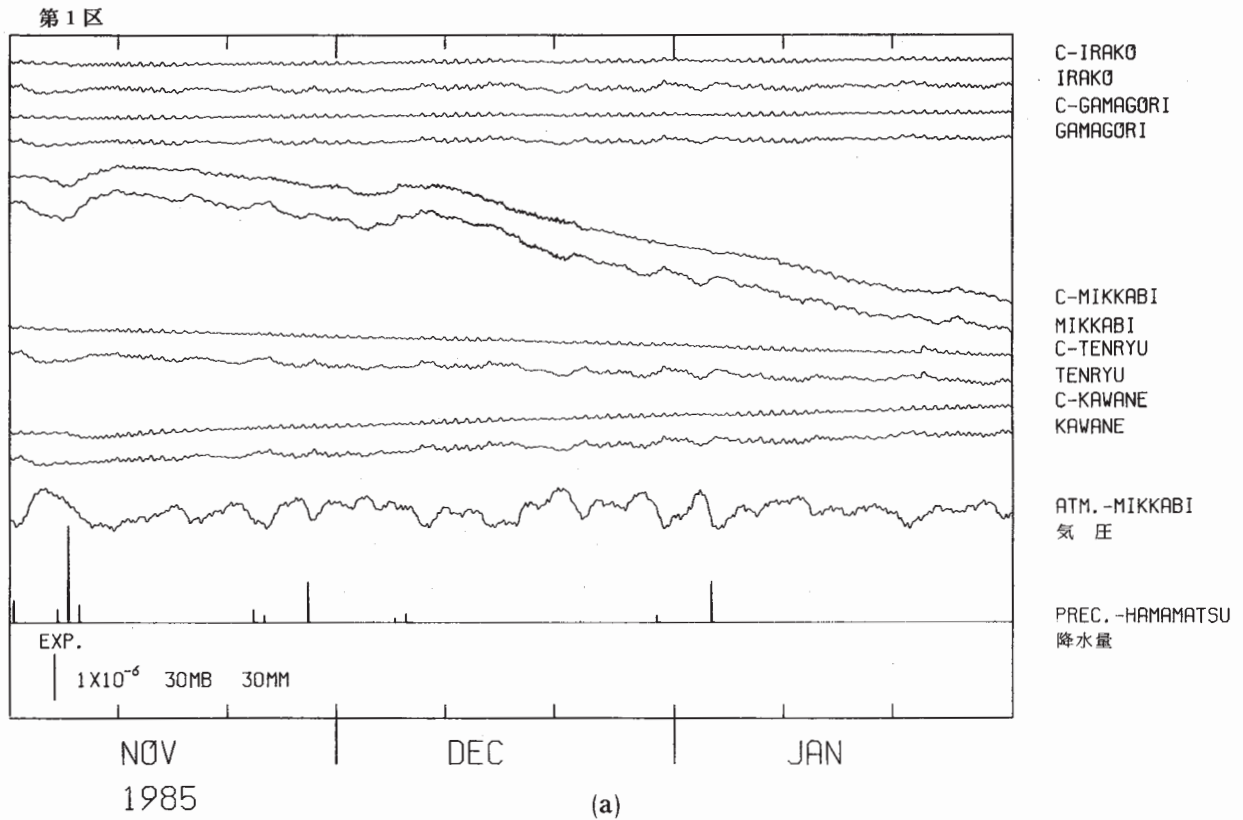
Fig. 1 (Continued)



(e)

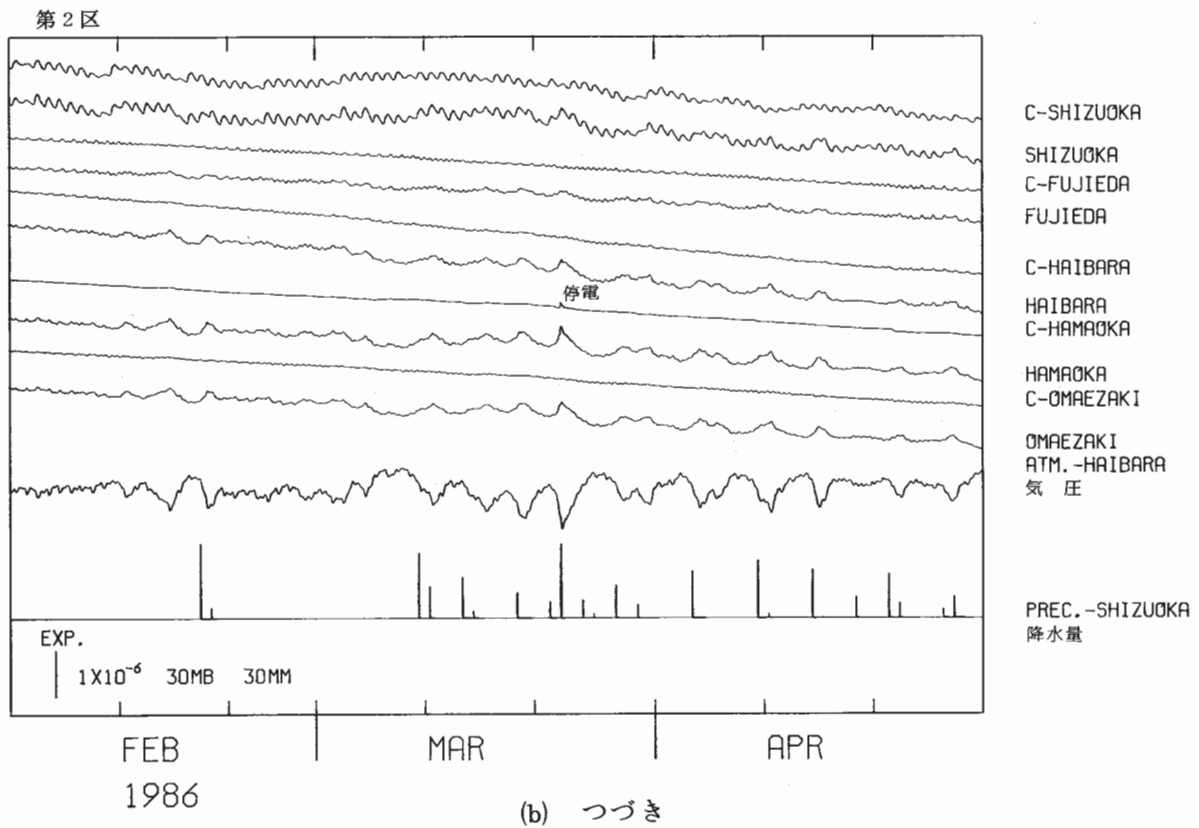
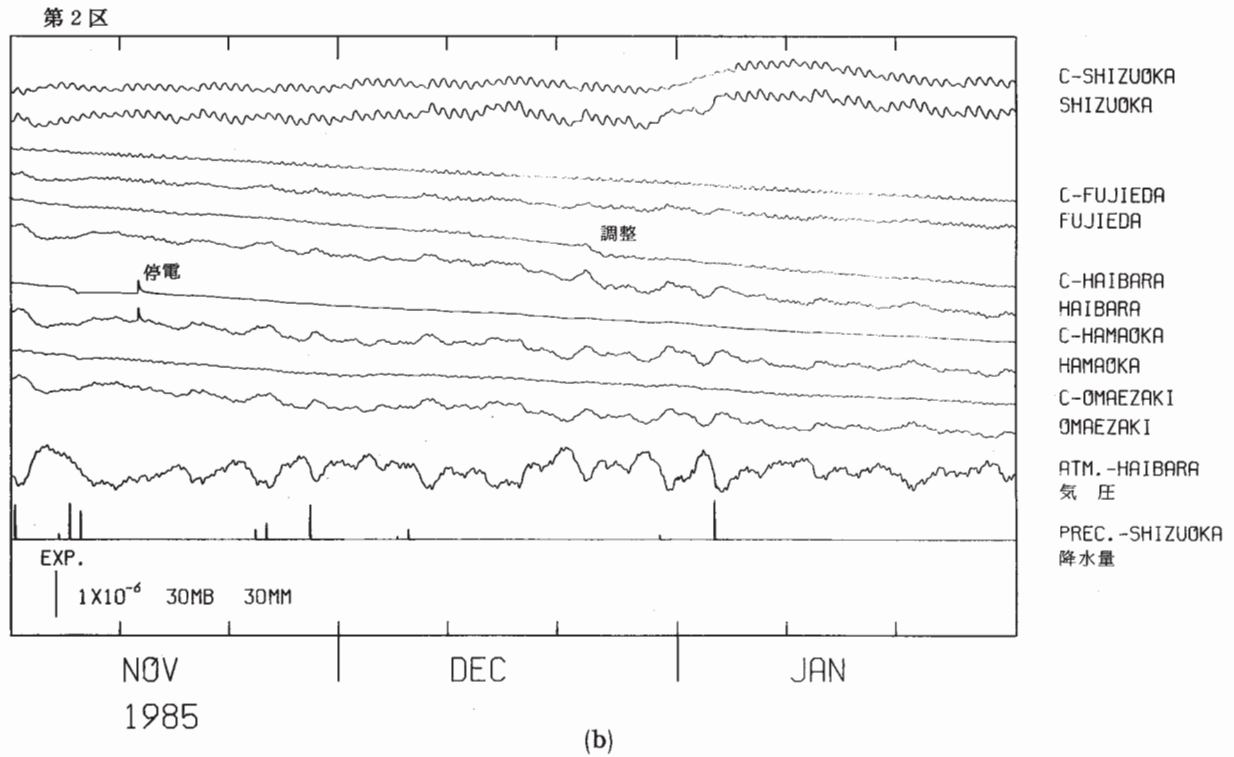
第1図 つづき

Fig. 1 (Continued)

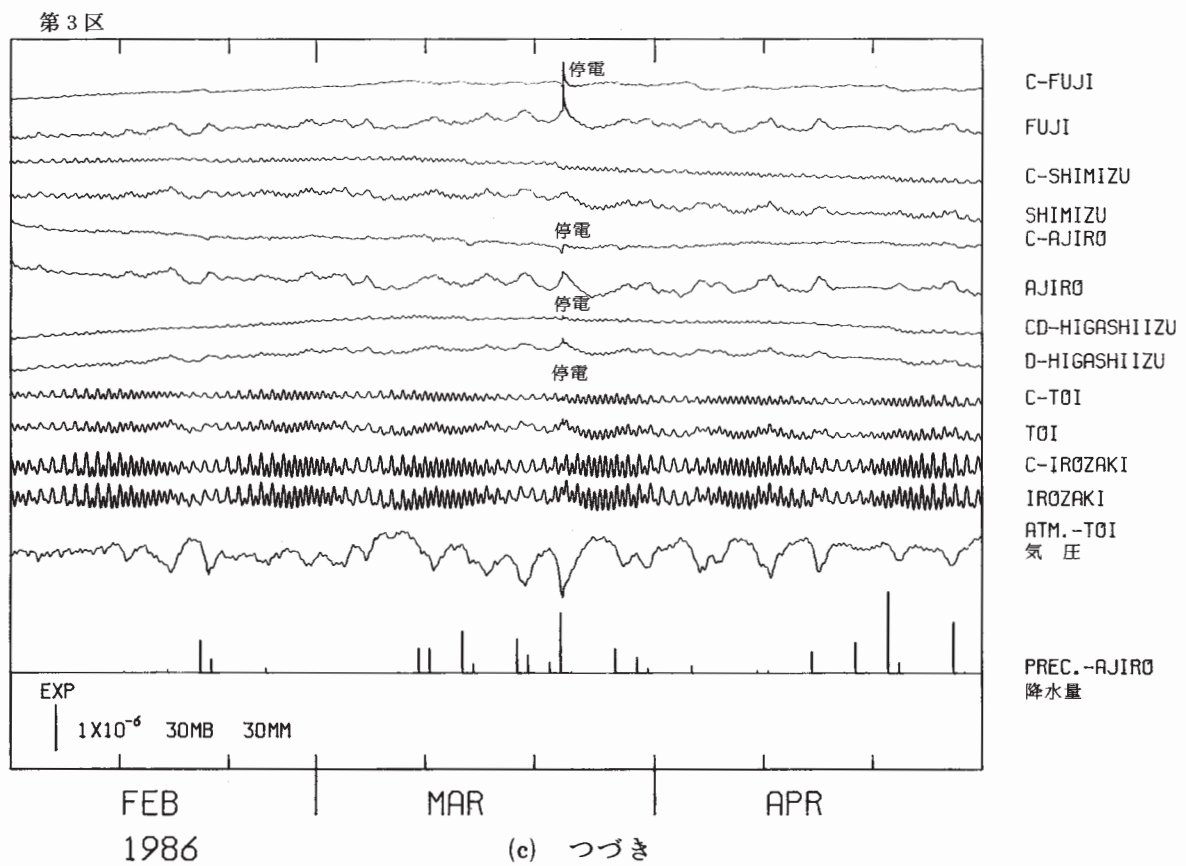
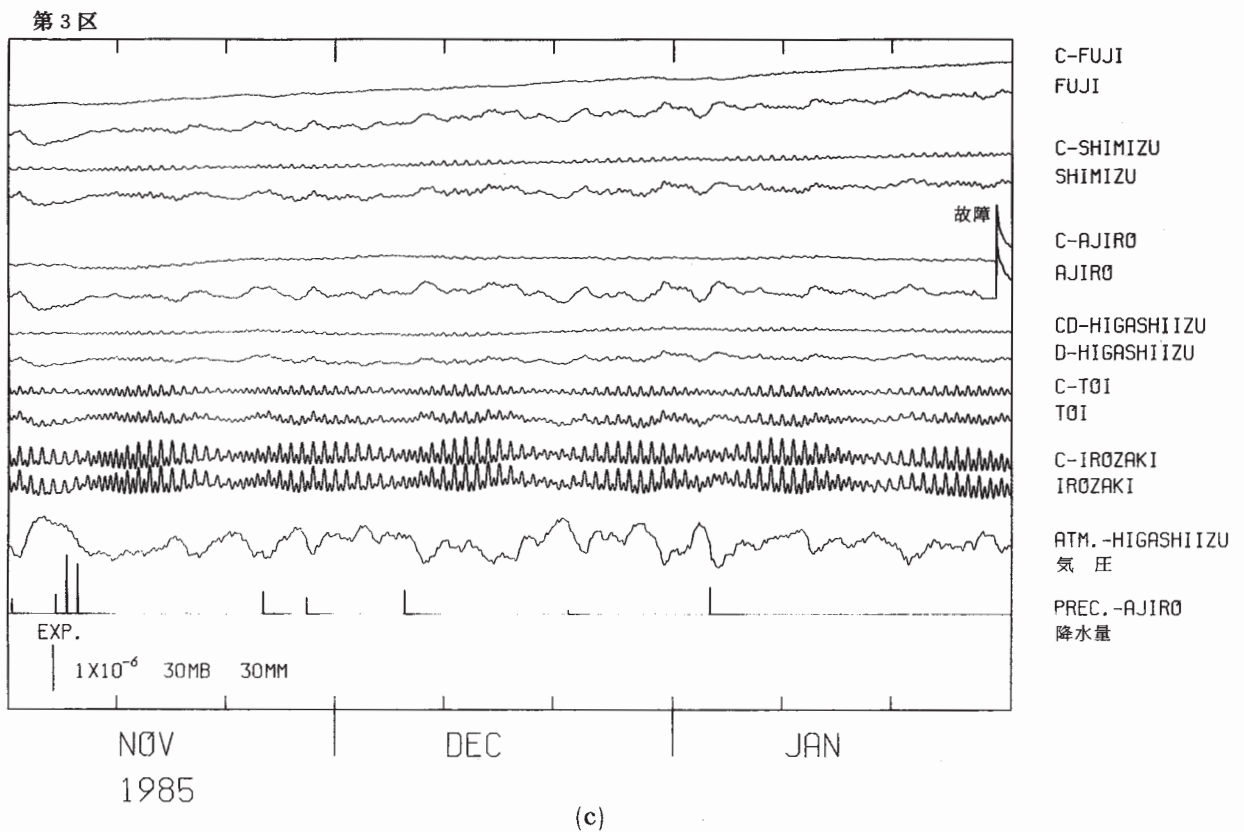


第2図(a)~(f) 1985年11月~1986年4月の東海・南関東地域における区域別歪変化(毎時値)

Fig. 2(a)-(f) Variation of crustal-strains by regions 1-6 shown in Fig. 1 in the Tokai and Southern Kanto districts, November, 1985 - April, 1986 (hourly values).

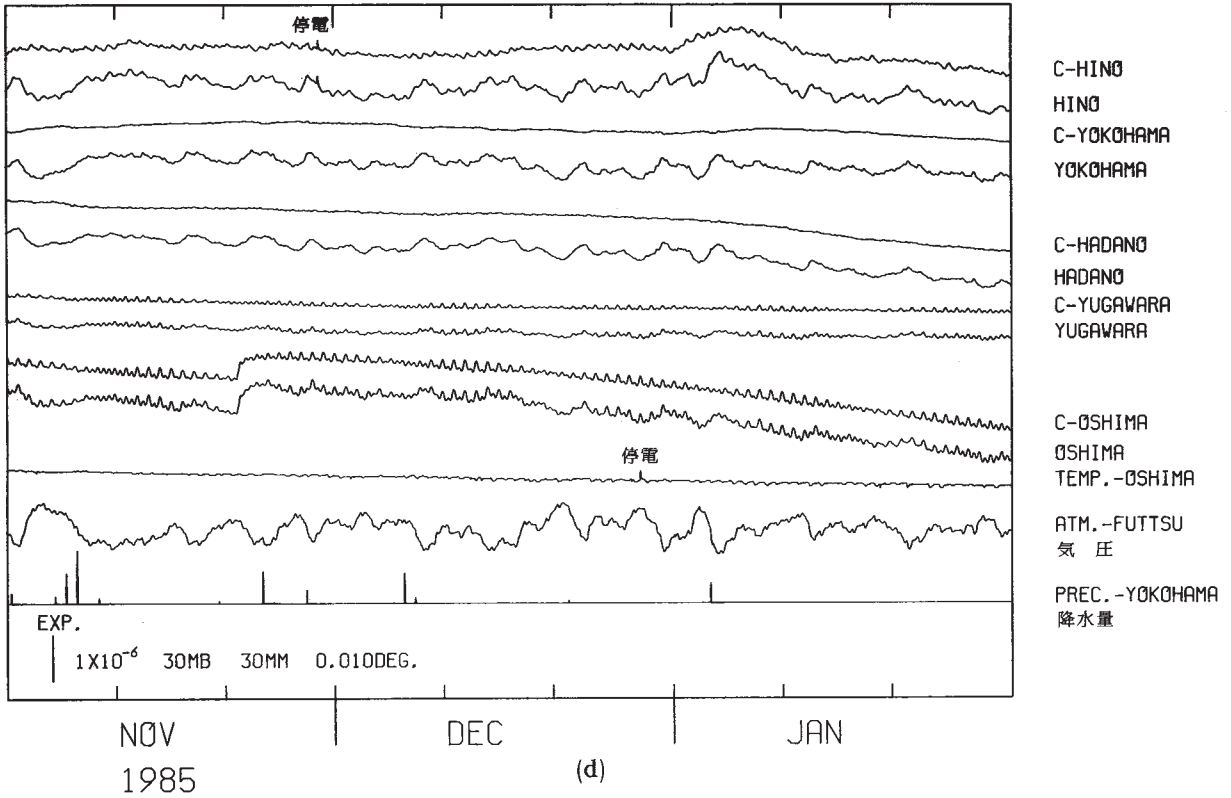


第2図 つづき  
Fig. 2 (Continued)

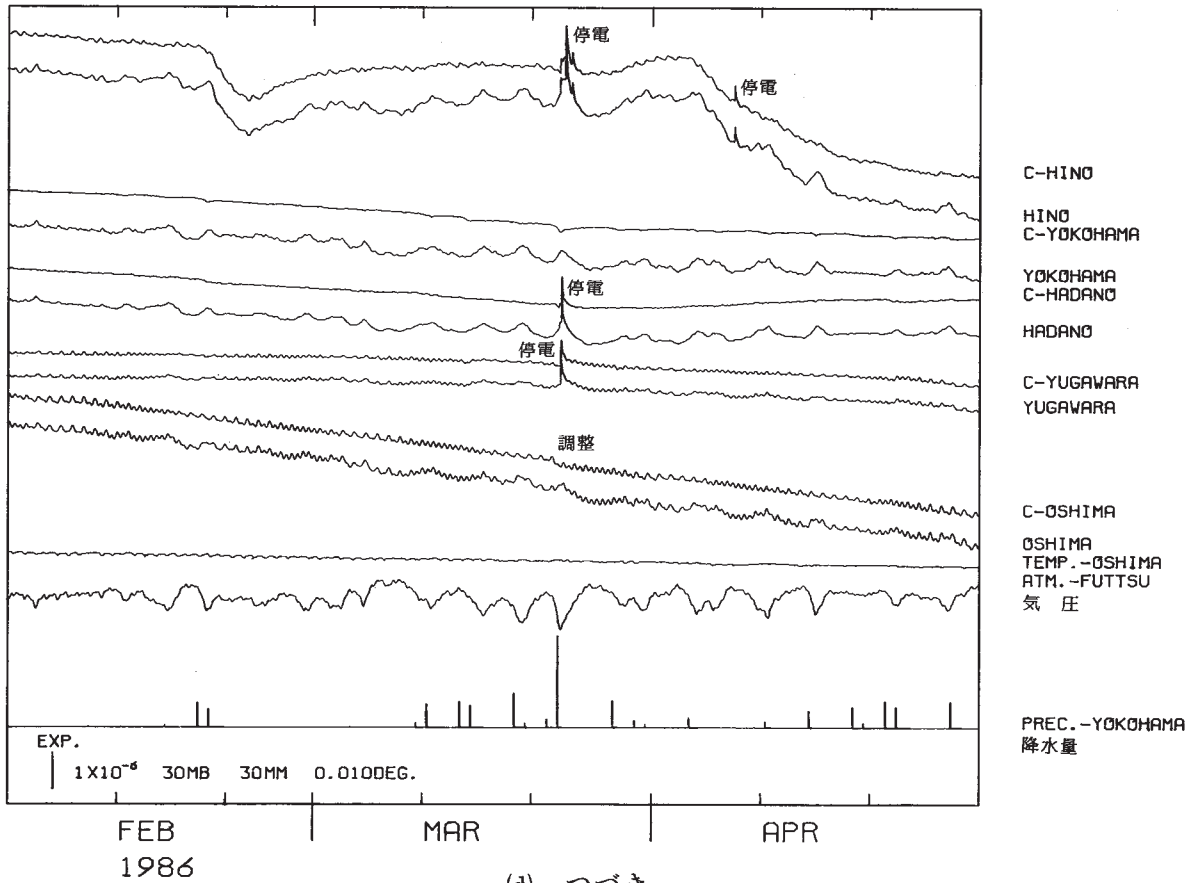


第2図 つづき  
Fig. 2 (Continued)

第4区



第4区

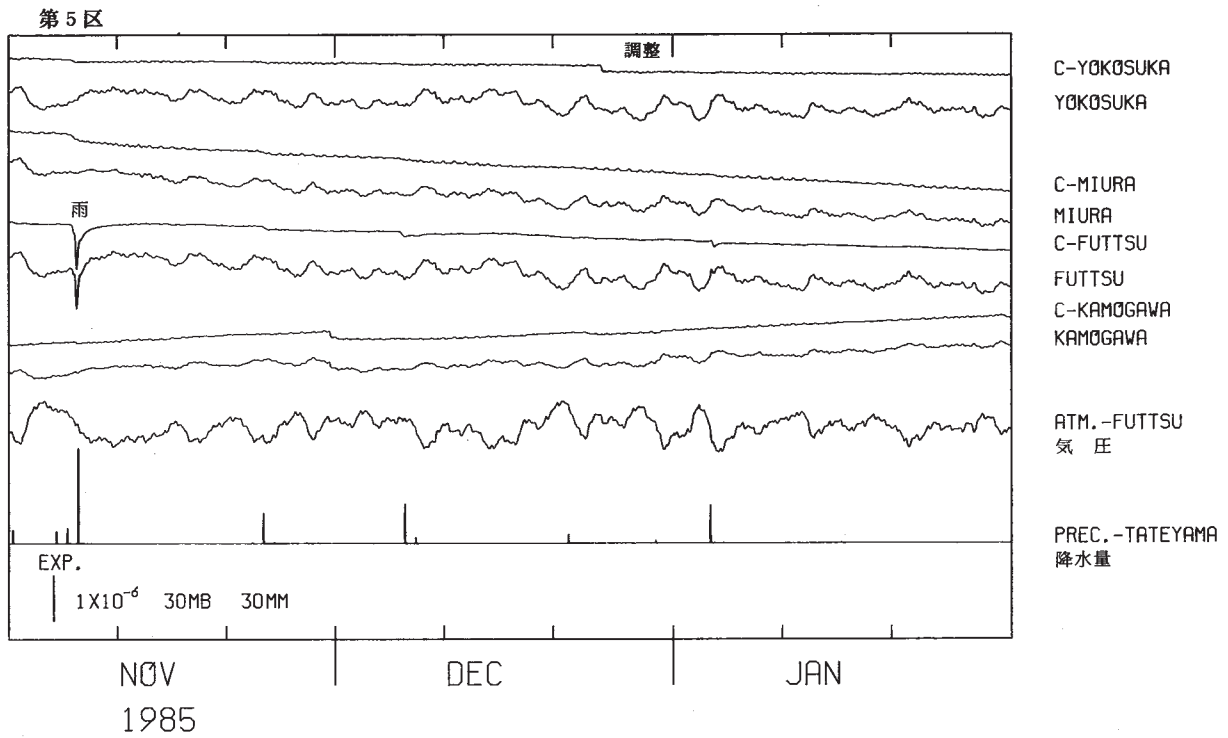


(d) つづき

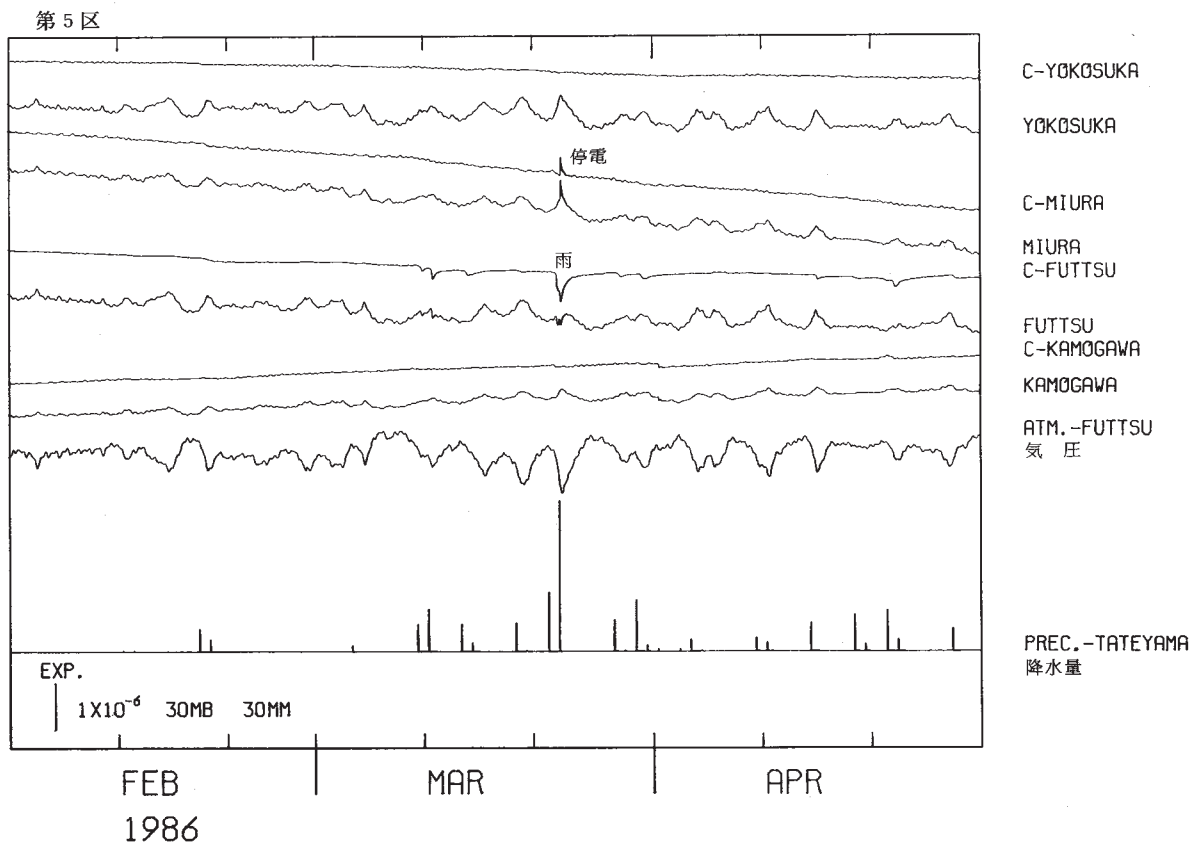
第2図 つづき

Fig. 2 (Continued)





(e)



(e) つづき

第2図 つづき

Fig. 2 (Continued)

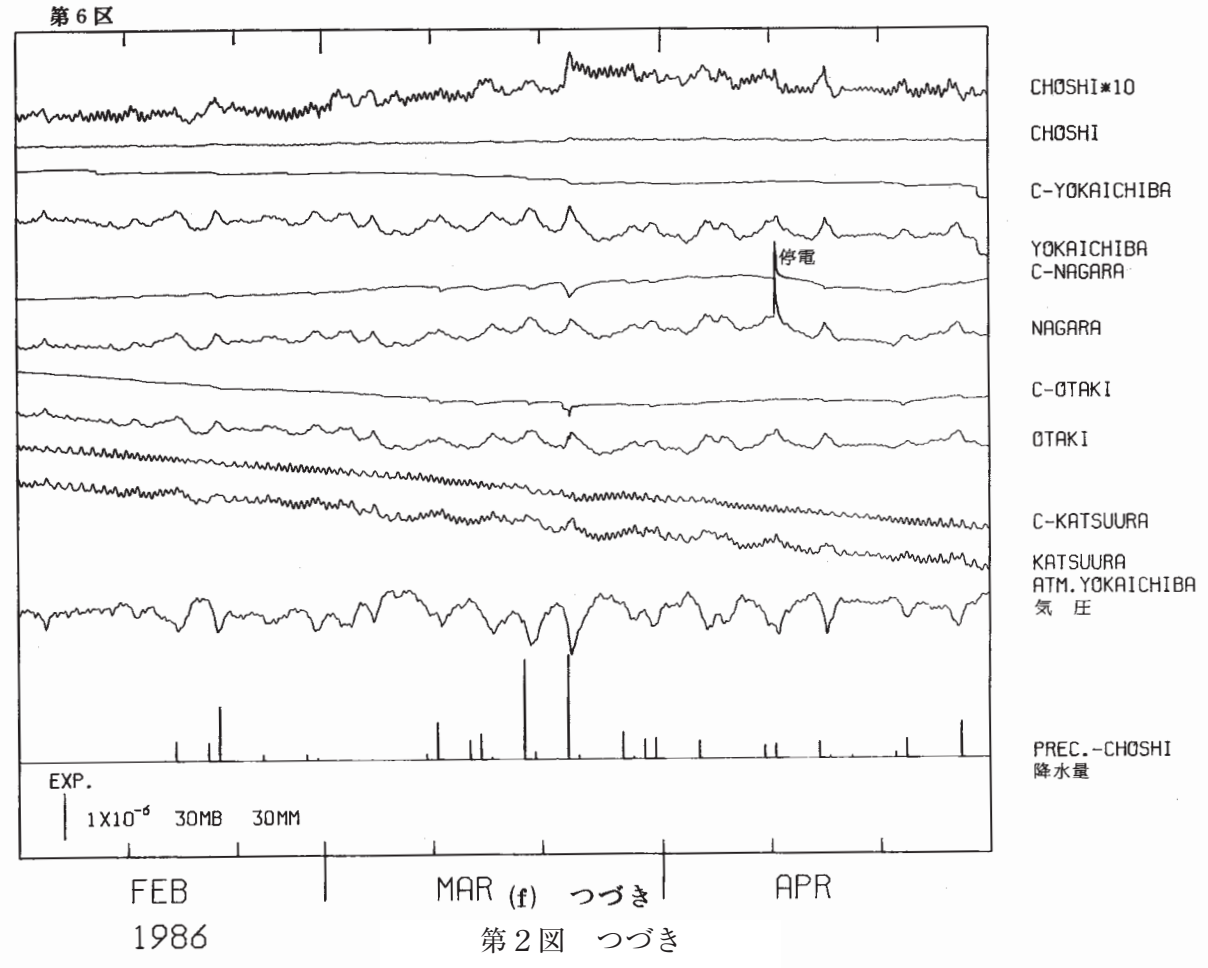
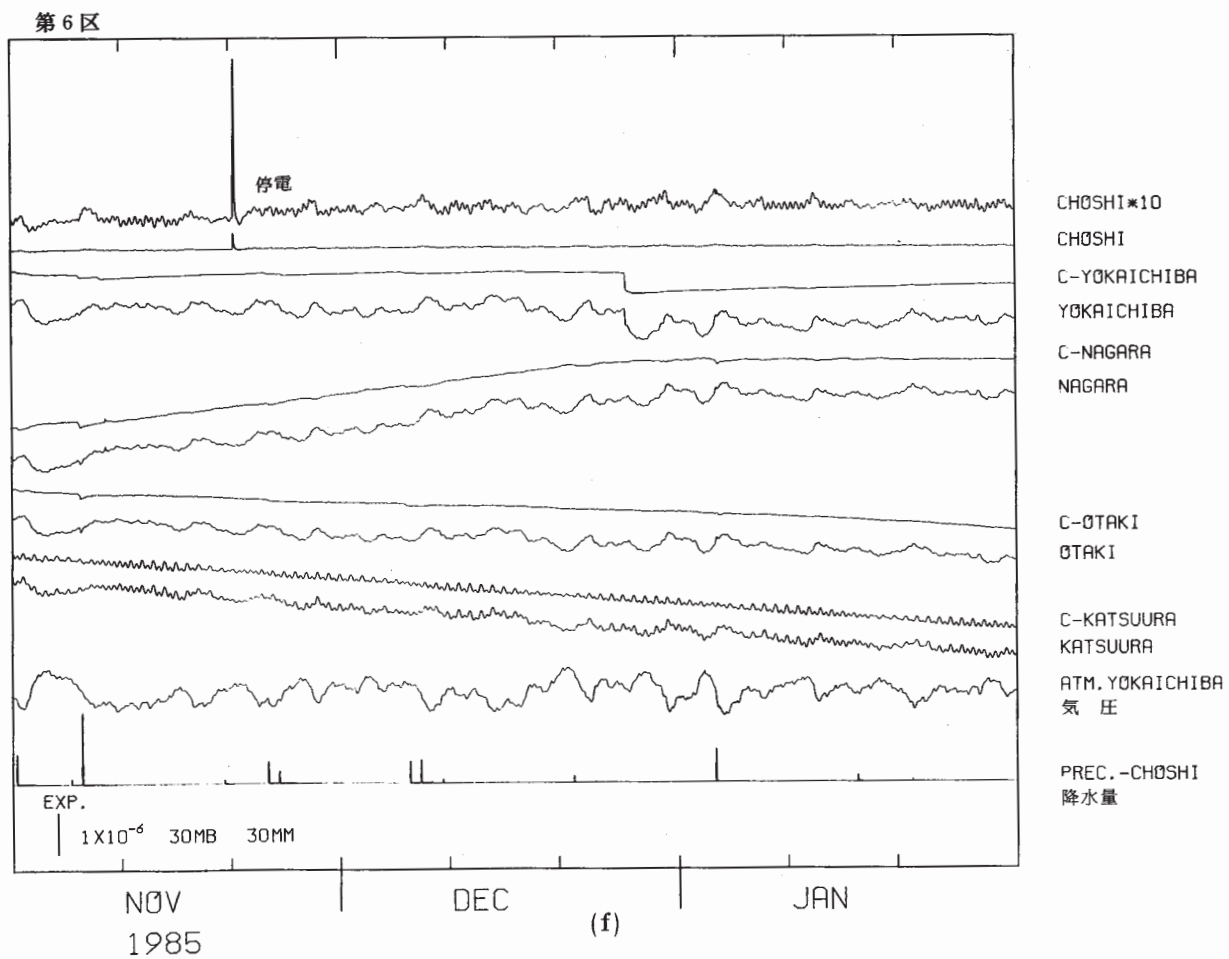


Fig. 2 (Continued)  
—285—